

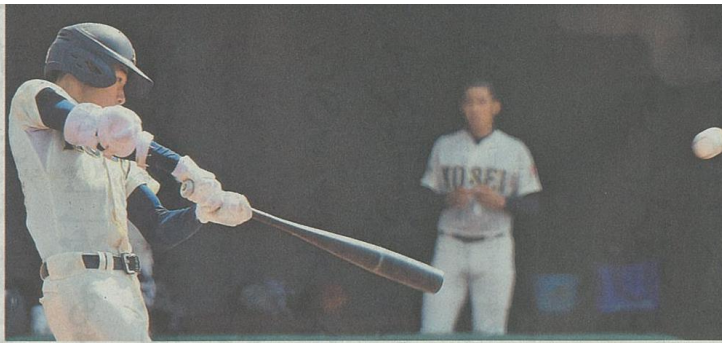
秋季県高校野球選手権は最終日の24日、弘前市のはるか夢球場で決勝を行い、青森山田が弘前東を3-1で破って2年連続8回目の優勝を決めた。青森山田は昨秋以降、県大会の優勝が4季連続。弘前東は春夏秋を通じて初の決勝に臨んだが、

最終日

秋季 県高校野球

強豪の壁に初優勝を阻まれた。3位決定戦は八学光星が4-1で八戸高専に勝利。青森山田、弘前東に続き、本県第3代表として東北大会への出場が決まった。試合成績が来春の選抜高校野球大会(セブンバツ)出場の参考資料となる東北大会は、10月13日に福島県で開幕する。

(本紙取材班)



【八学光星-八戸高専】5回表、八学光星1死満塁、矢野が右中間に走者一掃の三塁打を放ち3-1と逆転

【評】八学光星は1点を追う5回、1死満塁で打席に立った矢野が右中間を破る走者一掃の適時三塁打を放ち、逆転。続く長南もセンターへ適時三塁打を運び4点目を挙げた。エース福山がリードを守りきって東北大会への出場を決めた。八戸高専は三回、1死一、三塁の好機で田口がスクイズを決め、1点を先制。しかし、四回以降は走者を三塁まで進められなかった。

○：八学光星は勝ち

○：八学光星は勝ち

光星が東北切符 八高専、1点先制実らず

▽3位決定戦
八学光星
000004000000
00010000000014
八戸高専
(光) 福山・瀬川
(専) 関・石村・大久保
▽三塁打 矢野・長南(光)
▽二塁打 福山・近藤(光)
大久保・森田(専)
▽暴投 石村(専)

したものの、四回まで飛球やゴロに打ち取られる場面が目立ち試合前半は得点につながるチャンス

をつくりだせなかった。1-0の五回に3点勝ち越しの適時三塁打を放った矢野は「監督の指示でフライを打つよう意識はしていたが、長打にながったのは偶然」と語り、「結果的に勝ったが、打線のつながりが悪かったのはよくなかった」と笑顔はなかった。仲井監督は「個人が打つことより、打線をつなぐ意識を理解してほしい」とくぎを刺した。